

新体制で再スタート ～議会改革特別委員会～

5月9日、議会改革特別委員会の下村晴意委員長（生駒市議会公明党）から議長あてに委員辞任願が提出され受理されたため、6月定例会にて委員を補充、新たに成田智樹議員（生駒市議会公明党）が委員に選任されました。また、互選の結果、新委員長に山田弘己委員（市民派クラブ）、新副委員長に吉村善明委員（凜翔）が選出されました。

新体制のもと、現在月2回ペースで委員会を開催し、来年3月の議会基本条例素案策定を目指して改革項目の審査を進めております。新しい班構成と7月23日委員会終了時点の進捗状況は以下のとおりです。

担当者(敬称略)	審査項目	提案	審査中	終了	結果及び審査状況
角田(市民派クラブ)・西山(市民派クラブ)	市民からの意見聴取				未提案
	議会への市民参加				請願者の意見陳述の是非について審査中
	市民意見・提案を活かした政策立案				未提案
樋口(無党派)・恵比須(生駒市議会公明党)	決算審査方法の見直し				今年度から事業評価実施(詳細は裏面記事に)
	政務調査費の用途の明確化				交付対象を会派か議員が選択制に。用途の見直し
	地方自治法第100条の2の行使				提案され次回委員会から審査
	執行機関からの報告義務				未提案
白本(凜翔)・吉村(凜翔)・成田(生駒市議会公明党)	調査機関の設置				提案され次回委員会から審査
	図書機能の充実 (追加提案)				図書リストの配布実施。官報を置くこと、どのような図書をおくべきかについて追加提案することに。
	議会事務局の体制整備				未提案
	議員の資質向上				未提案
浜田(日本共産党)・塩見(無党派)	市民との対話				「対話」実施要綱と広報広聴委員会設置について合意
	テーマ別調査の見直し				可能規定か義務規定か基本条例策定時に再度審査
	会派				議会基本条例の該当条文を審査中
	基本的な計画の議決事件化				条例案作成→法制チェックへ

なら男女共同参画週間イベント

シンポジウムにパネリスト参加しました！

7月1日、奈良県女性センターで開催された「なら男女共同参画週間イベント」のシンポジウム「わがまちの女性議員、活動しています」(「女性と政治をつなぐ会・奈良」主催)に、昨年奈良県内の市議会副議長だった女性議員5人でパネリストとして参加、それぞれの議会の現状や活動について語り合いました。

私自身は、ジェンダーの問題は性別にかかわらず、人として政治家として学び理解し行動するのは当然で、女性にしかわからないというものではないと思います。

女性議員の数さえ増やせばいいという考えには賛成しかねますが、他の職種同様、女性が働きやすい制度や社会の理解を形成しなければ、有能な公共人材を確保するのは困難だと思います。



「原発」国民投票の実現を！！

「原発」のようなこの国の重要な問題は、主権者である私たち一人ひとりが意思決定にかかわるべき。私も賛同人になっている市民団体【みんなで決めよう「原発」国民投票】では、政府・国会に対して「原発」国民投票の実施を求める署名を行っています。

「任せて文句を言う」から「自ら引き受けて責任をとる」への転換を！ご賛同いただける方は、下記アドレスからご署名をお願いいたします。(携帯はこちら⇒) <http://kokumintohyo.com/> (auには対応せず)



塩見の議会報告会 & 塩見との意見交換会

8月11日(土) 13時半～15時半
南コミュニティセンター301号室



市政に関すること、議会に関すること…みなさんのご意見をお聞かせください。



議会と行政にホンモノの緊張関係を！

しおみ
塩見まきこ

市議会ニュースレター



2012年 夏号

発行責任者：塩見牧子 〒630-0213 生駒市東生駒1-215-402 TEL:0743-75-3403 FAX:0743-74-8518 e-mail:shiohiko753@yahoo.co.jp web: [塩見まきこ](#) [検索](#)

新議長に山田正弘議員、副議長に樋口清士議員を選出～5月臨時会～

5月9日の臨時会で、正副議長選挙、ならびに議会運営委員会と各常任委員会委員及び正副委員長の選出、監査委員の選任が行われ、議長に山田正弘議員(凜翔)、副議長に樋口清士議員(無党派)が選出されました。塩見は、今年は、企画総務委員会と昨年に引き続き議会改革特別委員会に所属することになりました。

地方自治法では、議長の任期は4年と定められていますが、多くの地方議会では申し合わせにより1年または2年の任期としており、生駒市議会でも、再任は妨げませんが1年ごとに正副議長は辞表を提出して新正副議長を選出しています。

議会改革など制度の見直しは、不断に取り組むべきもので、ころころと議長を入れ替えるべきではない、というのが私の考えです。

また、今は市民には、だれが議長候補なのか分からないまま投票が行われています。(議会運営委員会では、選出方法について投票が推薦かをはかっています。推薦ならまだ議長候補が見えるのですが、今年も「投票」の声しか上がりません。)

しかし、隣の奈良市議会で今回初めて行われたように、議長候補が議長になって何に取り組むのかを議長選挙前に所信表明すれば、少なくともだれが候補者なのか分かるばかりでなく、表明した内容は、市民や他の議員との間で交わされた契約事項となり、当選後は全力でそれに取り組まなければならないと思います。生駒市議会でも正副議長の立候補制を導入できるよう提案したいと思います。

吉田正人議員が逝去されました

臨時会を目前に控えた5月7日、吉田正人議員が逝去されました。入院中でも3月議会には出席、議決権をきちんと行使される責任感の強い方でした。

市議会では臨時会開議に先立ち、故吉田議員の逝去を悼み、黙とうを捧げました。

ご冥福をお祈りするとともに、ここに謹んで哀悼の意を表します。なお、欠員に伴う議員の補欠選挙は、平成26年1月執行見込みの市長選挙時に同時執行される予定です。



珍事？議員提出議案2件、請願1件取り下げ！～6月定例会～

6月議会には、①「関西電力大飯原子発電所3・4号機の再稼働を許可しないことを求める意見書」、②「使用済み核燃料中間貯蔵施設の奈良県設置に反対する意見書」の2件の議員提出議案が提出されましたが、会期中に、①に関しては大飯原発の再稼働が決定してしまったこと、②に関しては荒井奈良県知事が貯蔵施設の受け入れ検討を断念したと発表したことを受けて、ともに意見書を提出する前提条件がなくなり、最終本会議で議案が取り下げられました。

また、「東日本大震災災害廃棄物の広域処理に対して慎重な対応を求める請願書」が提出され、環境文教委員会で審査されましたが、すでに山下市長は、4月16日ブログ「市長日記」の中で、請願事項である「慎重な対応」をすと述べており、委員会でも災害廃棄物を受け入れないと表明したため、請願の目的は達成されているため請願を採択する必要はない、との意見が委員から出て否決。その後、請願者から請願書の取り下げ願いが提出され、最終本会議で認められました。

会期中に情勢が変わったり新たな事実が発生したりして議案が3本も取り下げられたのを私はこれまで経験したことがなく、今回は珍しいケースです。核燃料貯蔵施設の奈良県設置や放射性物質を含む災害廃棄物の受け入れには私も反対でしたので、議案を取り下げなければいけなくなった状況はむしろ喜ばしいのですが、安全性に疑問のある大飯原発が再稼働したことによる議案取り下げは残念でした。